

2008年9月10日



子どもの信頼をどう育てるか

-子どもの徳育に関する懇談会（2）における意見表明-

大阪教育大学
白井利明

1



自己紹介

- 時間的展望の研究
- 1. 大学生・大卒者の縦断研究
- 2. 非行からの立ち直り
- 3. フリーターのキャリア自立
- 現代社会で大人になるとは？

2



お話しする内容

- 学童期・青年期の発達課題
- 子どもはどう自立するか
- 子どもの希望はどこから生まれるか
- 公共心のある子どもに育てるには

3



学童期・青年期の発達課題

4



学童期の発達課題 (ハヴィガースト、1953)

- 通常の遊びに必要な身体技能を学ぶ
- 身体の健康や清潔、安全について気をつける習慣を養う
- 敵対する者も含めて同年代の者につきあうことを学ぶ
- 男女それぞれにふさわしい社会的役割を学ぶ
- 読み書きと計算の基礎的能力を発達させる
- 職業や市民生活などに必要な概念を蓄える
- 良心や合理的な価値判断力を発達させる
- 現在や近い将来の計画を立て実行できる自立的な人間となる
- 民主的な社会的態度を発達させる

5



青年期の発達課題 (ハヴィガースト、1953)

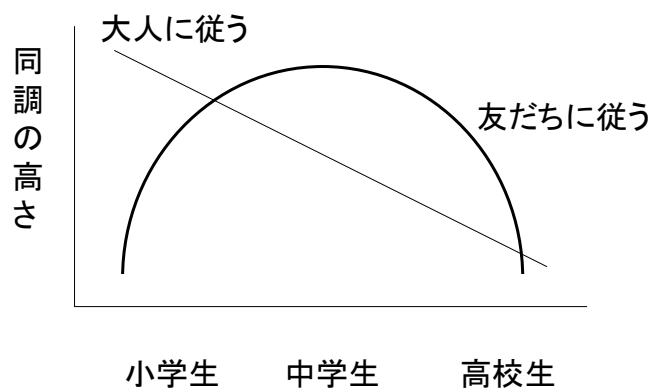
- 同年代の男女と成熟した交際を学ぶ
- 男性・女性としての社会的役割を身につける
- 自分の身体に誇りを持ち、有効に使う
- 親や他の大人から情緒的に独立する
- 経済的に独立できる自信を持つ
- 職業を選択し準備をする
- 結婚と家庭生活の準備をする
- 市民として必要な知識と態度を発達させる

6

子どもはどう自立するか

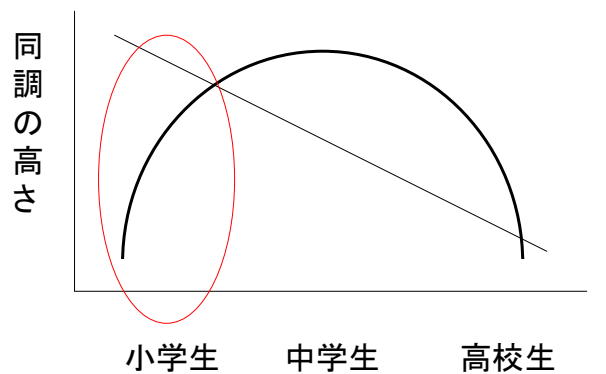
7

大人と仲間への同調1



8

大人と仲間への同調2

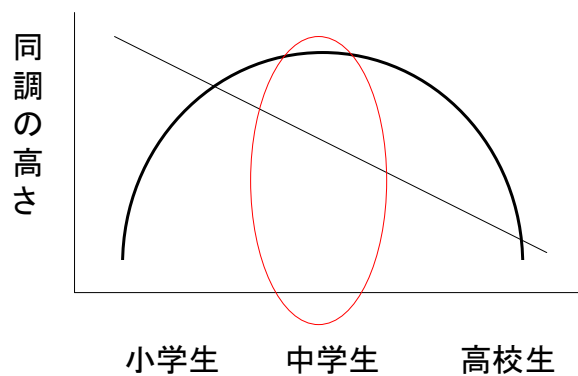


大人が絶対・
きまりを守るわけではない

道徳的他律

9

大人と仲間への同調3

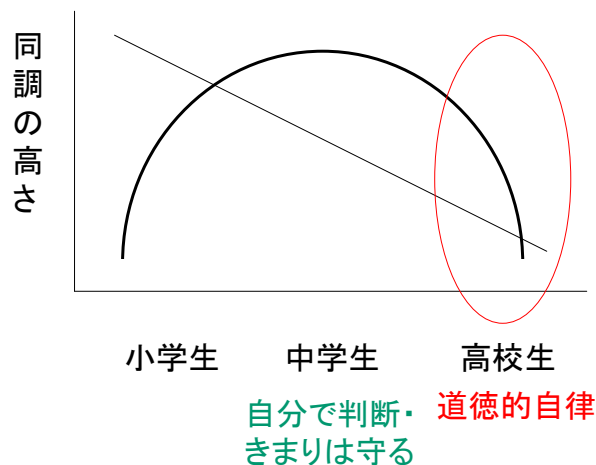


友だちによく見られたい・
秘密は友だちと共有

親からの自立・
自我の解体と再編成

10

大人と仲間への同調4



11

子どもの「揺れ」につきあう

- 「逸脱」が規範意識を形成する過程においてもつ意味
- 自我の解体と再編成が親から自立する過程においてもつ意味
- ↓
- 大人からは一見、否定的に見えることでも、発達的には大切なことがある

12



提言1

- 子どもの否定的な行動であっても、現れ方だけを見て対処するのではなく、行動の背後にある子どもの生活を見て生活を改善したり、発達的な意味を読み取って、子どもの発達を伸ばす方向で、大人や社会が対応すること
- 発達的な意味とは、**大人を乗り越えて発達**していく子どもの可能性を見いだすことである
- **子どもが未熟さを生きることが**できることを保障する ← 「急かされる子どもたち」(エルキンド)

13



子どもの希望は どこから生まれるか

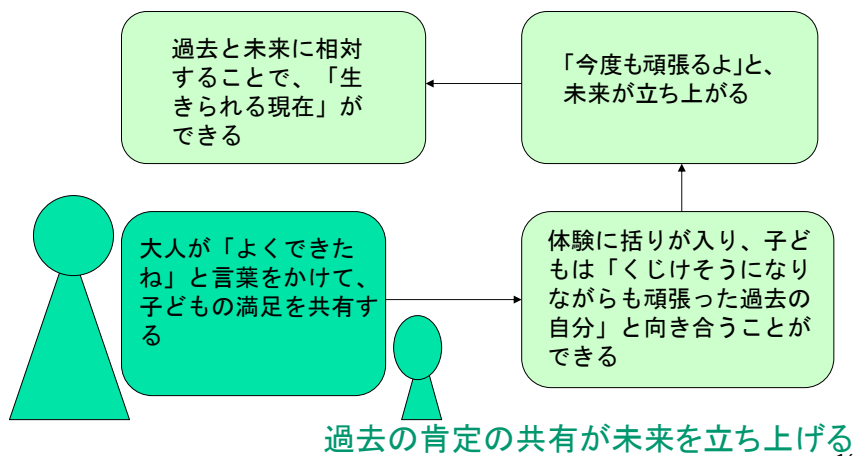
14

小学2年生の例 (服部、2000)

- おかあさん。けんぼんの『アチャパチャノチャ』は、さいしょはむずかしくてできなかったけれど、れんしゅうして、何回もしたらできたよ。テストのとき、がんばってごうかくしたよ。とてもうれしかったよ。こんどのけんぼんの音がくは、むつかしいけど、がんばるよ。

15

子どもの希望の立ち上がり方



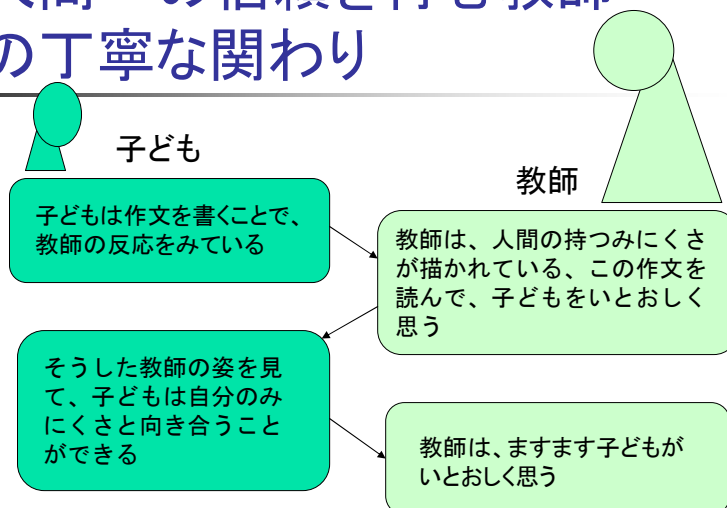
16

小学3年生の作文の例 (野名、2004)

- 町内で日曜日に野菜をとりに行くことになり、行きだけでなく、帰りも重い荷物を持たされ、しかも重いと言えない状況にある。一計を案じて、幼稚園の年長組にいる友達の弟に持たせるが、良心がとがめている。(概要)

17

人間への信頼を育む教師 の丁寧な関わり



大人の側の希望も立ち上がる

18



提言2

- 希望や目標は、「否定」ではなく、「肯定」の共有から生まれる → 減点主義からくる未来の課題設定、他者との比較などの競争ではなく、子どもが大人や社会から認められているという実感を育んでいくこと
- 世代間対話とは、子どもと大人がともに育ち合うこと → 大人がじっくりと子どもとかかわっていける見方や包容力を持つこと＝子どもの問題点ばかりを見ていないか、大人が忙しすぎないか？

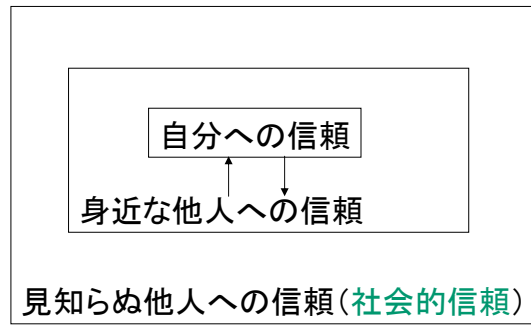
19



公共心のある子どもに育てるには

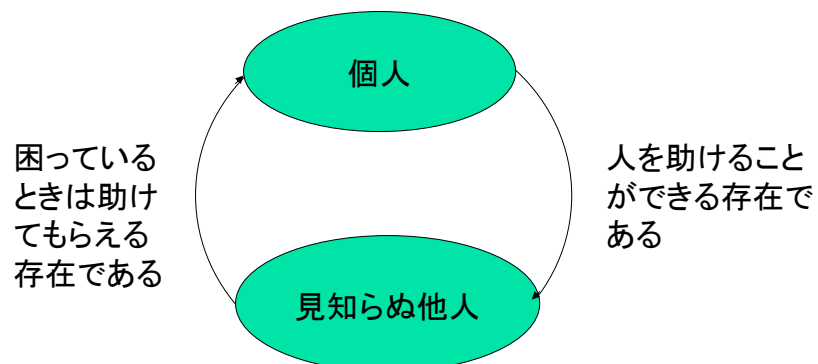
20

信頼の拡大



21

社会的信頼の育み方



22



社会的活動をするポイント

- 同じ価値観の者どうしではなく、考え方の違う者どうしが協同する
- 同世代だけではなく、異なる世代の多様な大人とつながる
- 社会を変えることができることを体験する

23



シティズンシップ

- 個人と国家との間の権利と義務に関する契約（ジョーンズら、1992+）

24

シティズンシップを促す

社会参加(ハート、1997)

- 形だけの参画：子どもに大人の計画通りさせる。意見を言わせるだけで、実行がない
- 主体的な参画：どんなことに意見を言うのかも子どもが決める。実行の過程にも加わる
例：遊び場づくりの実際にも子どもが参加する



提言3

- 「みんなの社会はみんなで作っている」ということが実感できるような取り組みをそれぞれのレベルで(学校でも、家庭でも、地域でも、国レベルでも)作っていく 例:学校の自治活動
- 社会のしくみや権利についての知識を習得すると同時に、それを実行する経験を積むこと 例:児童の権利に関する条約

27



引用文献

- ハート, R. A. 1997 木下勇ら監修 2000 子どもの参画 萌文社
- 服部敬子 2000 成長の実感・成長への期待 高木和子(編) 小学二年生の心理-なじんだランドセル- 大日本図書 pp. 72-104.
- ハヴィガースト, R. J. 1953 荘司雅子監訳 1995 人間の発達課題と教育 玉川出版
- ジョーンズ, G., & ウォーレス, C. 1992 宮本みち子監訳 2002 若者はなぜ大人になれないのか-家族・国家・シティズンシップ- (第2版) 新評論
- 野名龍二 2004 野にあって綴り方-今を生きる生活を豊かに

28



ご静聴ありがとうございました